

# 災害が起きたときの

# SNS

# との付き合い方を考える

SNS（ソーシャルメディア・ネットワーク・サービス）は、世界中でその利用が広がっています。災害が発生すると、その通信手段の一つとしても利用されることがここ最近増えてきました。講演者は、東日本大震災の発生以降、災害のときにSNSでは、どんなことが発信されたのか、どんなふうに使われ、役に立ったのか・役立たなかったのかを実証的に調べてきました。講演では、この8年間の「災害とSNS」の実態に迫り、災害が発生したときに、我々がSNSとどう付き合えばいいのかを考えたいと思います。

2019年7月9日（火） 18:00~19:30

名古屋大学減災館 1階 減災ホール

※事前申込不要・入場無料

## 佐藤 翔輔

東北大学災害科学国際研究所准教授

